



問い合わせ先 大間々保健センター ☎(72)2211

子宮頸がんワクチンの定期予防接種について

4月から2価・4価に加え、9価ワクチンも定期接種の対象となりました。

ワクチンについては、医療機関へ相談してください。

対象 小学校6年から高校1年相当の女子および平成9年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた女性のうち、過去に接種を合計3回受けていない人

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

がん検診のお知らせ

4月初旬に「がん検診等のお知らせ」を郵送しました。

●大腸がん検診容器配布
容器配布日時・会場

配布日	配布時間	配布場所
5月9日(火)	9:30 ~ 11:30	笠懸保健センター
	13:00 ~ 15:00	笠懸保健センター
5月10日(水)	9:30 ~ 11:30	大間々保健センター
	13:00 ~ 15:00	大間々保健センター
5月11日(木)	9:30 ~ 11:30	東保健センター
5月12日(金)	9:30 ~ 11:30	笠懸保健センター

容器回収は容器回収日のみと胃がん検診と同日の日があります。詳しくは、送付したお知らせをご確認ください。

●胃バリウム検査

予約開始日(5月分・6月6日分) 5月8日(月)

予約方法 電話で希望日時を伝えて予約する。

●胃内視鏡検査(胃カメラ)

予約方法 6月1日以降に登録医療機関に電話で予約してください。

受けていますか？がん検診

がんは他人事ではありません。日本人男性の3人に2人、女性は2人に1人が生涯何らかのがんになり、2021年は38万人以上ががんで亡くなっています。がんで亡くならないためには「がんを防ぐ生活習慣」と「早期発見のためのがん検診」を併せて行うことが大切です。

【罹患数の多い部位(2019年)】

	1位	2位	3位
男性	前立腺	大腸	胃
女性	乳房	大腸	肺
男女計	大腸	肺	胃

参照：がん登録罹患データ2019

【死亡数の多い部位(2021年)】

	1位	2位	3位
男性	肺	大腸	胃
女性	大腸	肺	膵臓
男女計	肺	大腸	胃

参照：国立がん研究センター「がん情報サービス最新がん統計」

【部位別・病態別相対生存率】

	I期 (ステージI)	II期 (ステージII)	III期 (ステージIII)	IV期 (ステージIV)
胃がん	90.3	57.0	37.2	5.8
大腸がん	94.8	83.0	76.2	13.8
肺がん	67.6	34.5	13.1	2.1
乳がん	98.3	88.7	66.6	18.5
子宮頸がん	88.8	68.0	51.7	19.6

参照：がんの統計 2022 全がん協部位別臨床期別10年相対生存率 (%)

◆がんを防ぐ生活習慣

がんの発症には、さまざまな要因が関係しているといわれ、明らかに発症リスクを高めるとされているものに喫煙や飲酒、赤肉・加工肉の多い食事、肥満などがあります。

生活習慣を見直すことで、発症リスクを下げることは可能です。

◆早期発見のためのがん検診

早期に見つけることで、多くのがんは9割程度が完治しますが、日本の検診受診率は先進国では最低レベルです。早期発見のためには症状が出てからではなく「症状が出るより前」に検査を行う必要があります。定期的ながん検診を受けておくことが大切です。

がんと診断された人が10年後に生存している割合を見ると、早期で発見できた場合の生存率は高い一方、進行して見つかったがんでは大きく下がります。がんは進行するにつれ、体への負担や医療費も増え、治療方法の選択肢も限られる場合がありますので、早期発見・早期治療に努めましょう。

